宮本 理一郎 議員

ふるさと納税制度の効果は

坪根町長 ふるさとを思う気持ちが基本

問 ふるさと納税制度とはどのような政策なのか。

福本税務課長 この制度は自治体に寄附を行うもので、寄附した方が住民税・所得税の軽減措置を受けられる制度である。

問 自治体にとってのメリットはどういうことか。

福本税務課長 居住地以外の方からの寄附が集まることが大きなメリットである。

問 寄附された方に対してお礼、特典をつけることで、より多くの寄附を受けようという考えだが、本町の取り組みは。

福本税務課長 本町は十万円以上の寄附について、5千円相当の特産品詰め合わせを贈っている。

問 納税効果、財源効果を考えた場合、もっと創意工夫が必要では。

福本税務課長 町の活性化を考えれば、何らかの特色ある特典を考えたい。他の自治体の取り組みも参考にしたい。

問 「ホームページを見ていただきたい」というだけでは、広報・PRが不十分ではないか。

坪根町長 この制度が良いのか悪いのか、まだ把握できていない。寄附する方の意志、特典や広報のあり方など、今後十分考慮すべきと思う。

行政職員の職務と職責は

問 坪根町長体制になってから、それ以前からのことで行政の不祥事発覚が続いている。これは個人の資質の問題なのか、行政内全体の体質の問題なのか。

坪根町長 どの業界でも個人の資質には格差がある。教育、訓練、日々の積み重ねなどにより、個人のスキルを上げることで、行政全体の体質も向上していくという考えである。本町職員が他に比べて劣っているとは思わない。むしろレベルは高いと思っている。

問 各課長は、担当課の責任者として、部下の業務処理状況の管理監督は、当然日々行っているはずだが。

川口総務課長 業務の把握、十分なコミュニケーションをとるため、再度、課内会議の実施を指示したところである。

問 行政職員の仕事は、外から見るより非常に厳しいのに、途中でやめる者は少なく、終身で働き通す。また、逆に新卒者の就職希望先としては、例年トップクラスの人気を集めている。これはなぜだと思うか。

川口総務課長 定年まで転勤せずに働き続けられること。それ以上に住民全体の奉仕者としての職責を自覚し、切実公正に職務を遂行することで、生きがい、やりがいが生まれる。結果として終身で仕事に取り組めるのではないかと考える。

問 直接、住民の幸せ、住民の生活や地域の発展に寄与する公共性の高い仕事をしているがゆえに、厳しくとも仕事のやりがいを感じている。このことを忘れず意識して仕事をすれば、不祥事は防げるのか。

坪根町長 職員一同、一致団結していく。職員は毎日、かなりハードな仕事をこなしており、今後は精神面のケアもしっかりして行こうと考えている。

宮崎 昌宗 議員

コモンパーク外構工事なぜ1社に

中会計管理者 地元業者が手をあげず

問 コモンパーク上毛彩葉の販売・建築の基準が厳しく、購入をやめた話を聞くが、どれほどあるのか。

川口総務課長 建築協定条例を守れる方に販売促進をしている。できない方はお断りするしかない。基準が厳しくて購入をやめた話は聞いていない。

問 外構工事が福岡の1社しか認められていないと聞く、なぜ福岡の業者が1社独占なのか。

川口総務課長 基本的には建築主(家主)が外構工事を発注するわけで、行政では縛りをかけていない。

問 よく調べていただきたい、1社独占で金額も高止まりと聞いている。

中会計管理者 植栽の設計はプレゼンにより古賀緑地建設が行っている。施工については地元業者でも構わないが、以前、地元業者に相談したが手があがらなかったためである。

問 今年度から新規参入企業(ハウスメーカー)の募集をしたが結果は。

川口総務課長 現在12社のハウスメーカーと代理店契約を締結しており、新規参入はない。1社は撤退している。

ふるさと納税の取り組みは

問 3月議会で、ふるさと納税について質問したが、その後の経過は。

福本税務課長 取扱いについては変わらない。(積極的には取り組まない)議論についても突っ込んだ内容とはなっていない。

問 当時の答弁は、取り組んでいきたいとのことだった。議論もなく残念だ。

坪根町長 この納税の本来の趣旨は、自分の生まれた故郷に恩返しをするといった意味合いが基本である。今、話題となっているのは特典目当てということで物釣り合戦的な流れは、本末転倒である。本町をPRする意味で、ホームページのアクセスを増やす工夫はしなければならない。また地元の資源を活用し、自信を持って紹介できる、レベルの高いものを開発・提案していきたい。

問 発想の転換をするべきでは、地方が頑張った結果が出るのがふるさと納税だと思う。税収不足に悩む地方だからこそ、ふるさと納税を伸ばすべきでは。

坪根町長 物産とかでPRするよりも、忘れられないように、上毛町は良く頑張っていると思われるように、例えばしっかりとしたパーキングエリアを開発するなど、大いに全国に発信してまいりたい。ふるさと納税に特化する発想はないということである。

大池公園周辺施設の指定管理は

問 大平楽などの集客・経営状況は。(温泉・さわやか市・ログハウスなど)

川口総務課長 平成25年度は施設全体で、集客は53万7798人、収支は2693万4000円の赤字です。

問 さわやか市の売り上げに、小倉でのアンテナショップ売り上げも含まれるのか。

永野産業振興課長 含まれている。平成25年度には約683万円の売り上げがあった。

問 大平楽に新たなプレハブ施設や増改築が行われている。どのような条件で許可したのか。前管理者が行った増改築で引継ぎの際に問題になっている。

中会計管理者 バス添乗員の休憩場所は補助事業の対象施設となっており、県と協議し許可をいただいている。指定管理終了後に、現状回復する協定になっている。

問 前町長は前管理者とのトラブルにおいて、指定管理者の適正な把握と指導が不十分であったので、責任の一端は行政にあることは否定できないと反省している。現管理者に対してどう対応するのか。

坪根町長 最初のボタンの掛け違いが、後々まで響いたと思う。過去の悪しき流れを全部1回リセットしてプレハブも撤去でき、スッキリはしたと思う。今からの(有)エイトに期待したい。気づいたところがあれば苦言を呈していきたい。

住民サービスの向上を

問 役場を訪れた方のため、ワンストップサービスができるように総合案内係や案内ブースを作らないか。一般の方は何課に行けばいいかわからない。

川口総務課長 住民課のカウンター上に総合案内の看板を設置し、住民課の生活窓口係が対応している。新たな案内係員の配置はいろいろな面で困難で、現時点では考えていない。